

# 月下美人カルス発酵液

## ■開発の経緯

ゲッカビジン(月下美人、学名Epiphyllum Oxypetalum)は食用としても利用されますが、有用成分に差異が生じます。そこで有用成分が安定的に含まれるカルス栽培法を活用しました。

発酵することで食物繊維と結合している有用成分を単離し低分子化することで作用を高めました。



## ■表示名称

### 1. INCI

Epiphyllum Oxypetalum Callus Extract、Monascus/Euterpe  
Oleracea Fruit/Rice Bran Ferment Filtrate

### 2. 化粧品表示名

ゲッカビジンカルスエキス、ベニコウジ菌／(アサイヤシ果実／コメヌカ)発酵液

### 食品用表示

ゲッカビジンカルス発酵エキス(ゲッカビジンカルス、アサイヤシ果実、コメヌカ、ベニコウジ菌)

原材料：ゲッカビジンカルス(日本産)、アサイヤシ果実、コメヌカ、ベニコウジ菌

## ■作用

女性ホルモン様作用  
ダイエット作用  
皮膚幹細胞増殖

安定性 冷暗所にて2年間

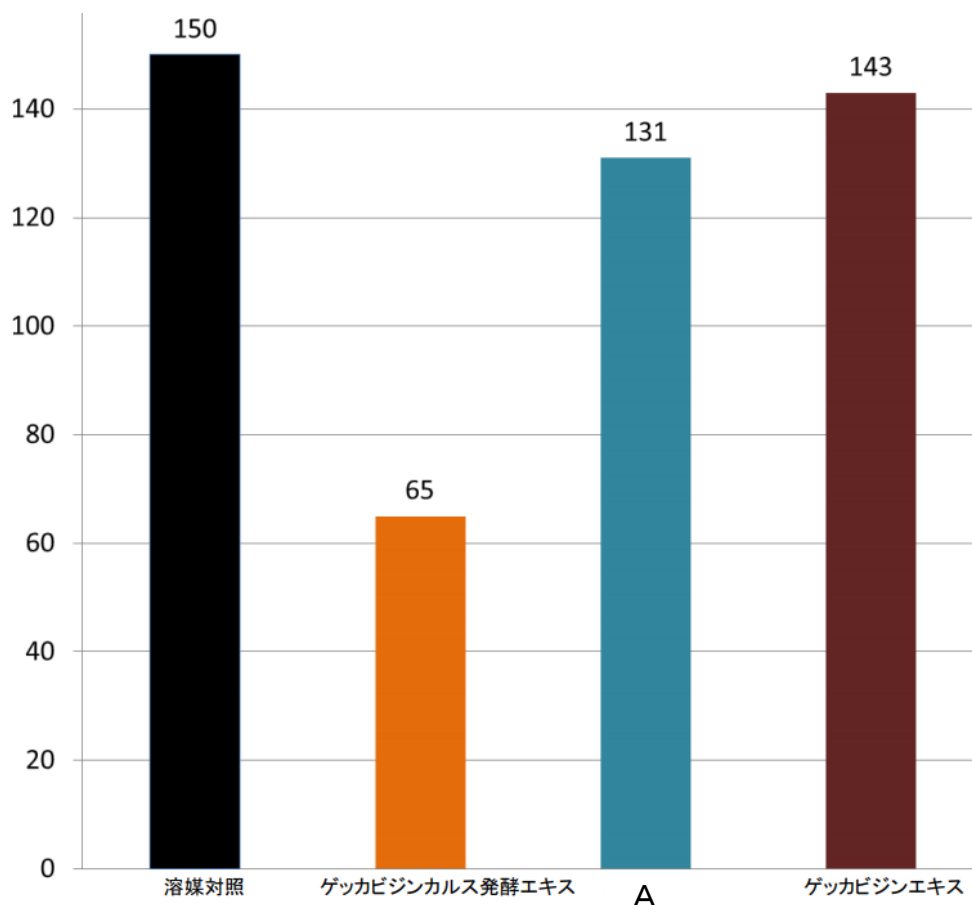
添加物 BGなどの添加物は使用していません

安全性 ヒトによるパッチ試験で安全性を確認

# 月下美人カルス発酵液

## ヒト脂肪細胞に対する働き — 脂肪細胞抑制作用 —

ヒト脂肪細胞 細胞数 (× 1000 cells)

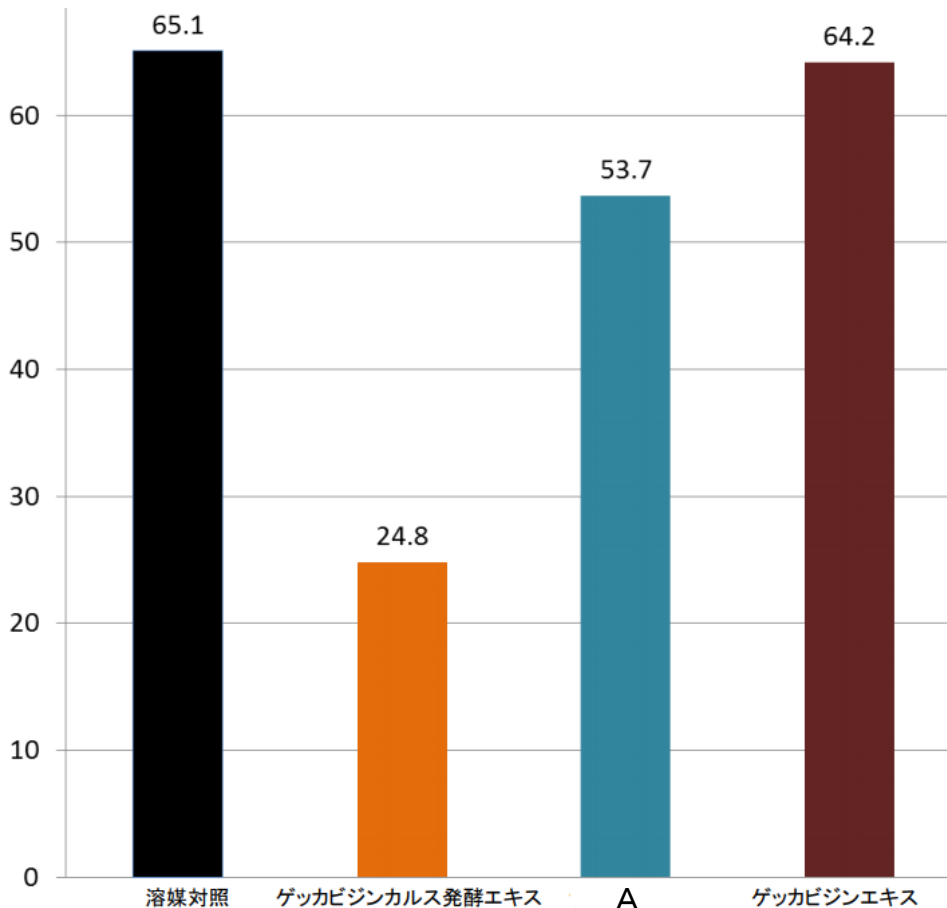


月下美人カルス発酵液は、ヒト脂肪細胞の増殖を抑制しました。脂肪減少によるダイエット作用が期待されます。

# 月下美人カルス発酵液

## ヒト脂肪細胞に対する働き — 中性脂肪抑制作用 —

ヒト脂肪細胞 中性脂肪量 ( $\mu\text{g}/1000 \text{ cells}$ )

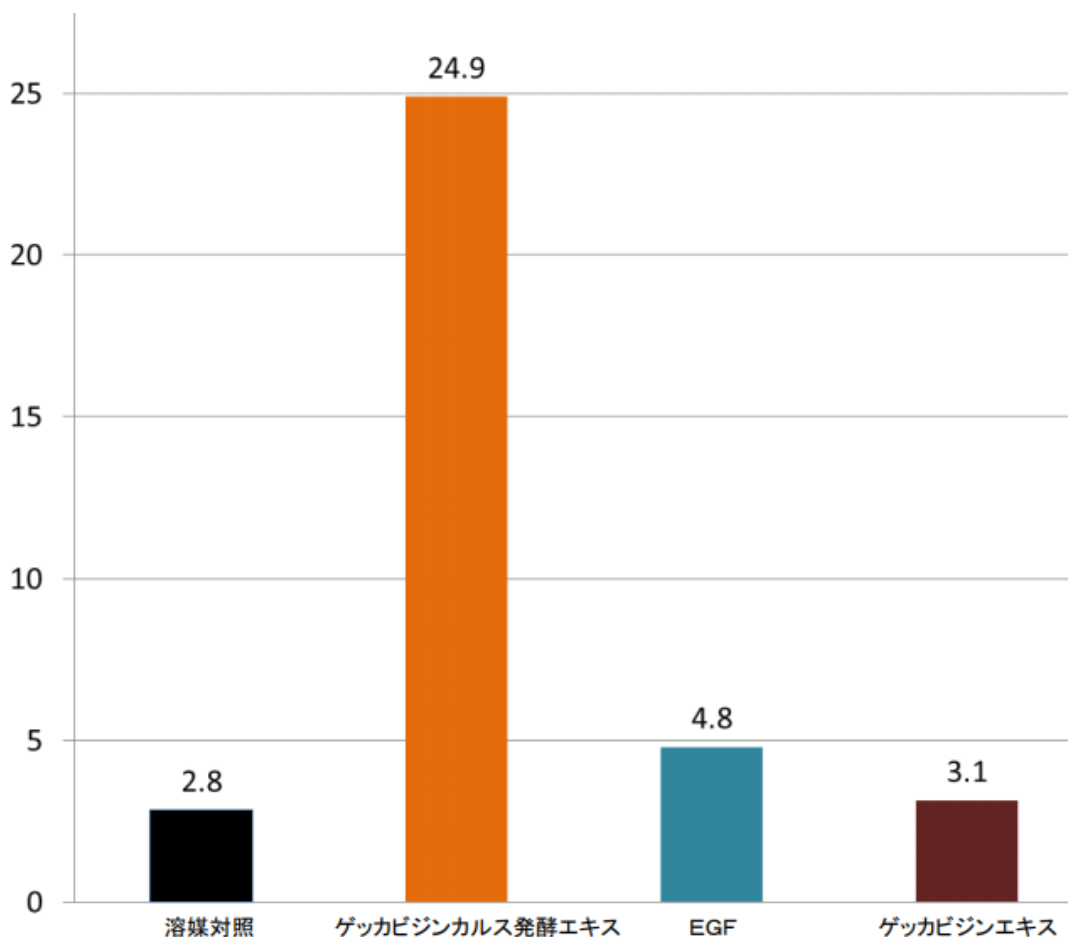


月下美人カルス発酵液は、ヒト脂肪細胞の中性脂肪を減少させました。脂肪減少によるダイエット作用が期待されます。

# 月下美人カルス発酵液

## ヒト乳腺細胞に対する働き — ホルモン作用 —

ヒト乳腺細胞 ホルモン活性 (Units/1000 cells)

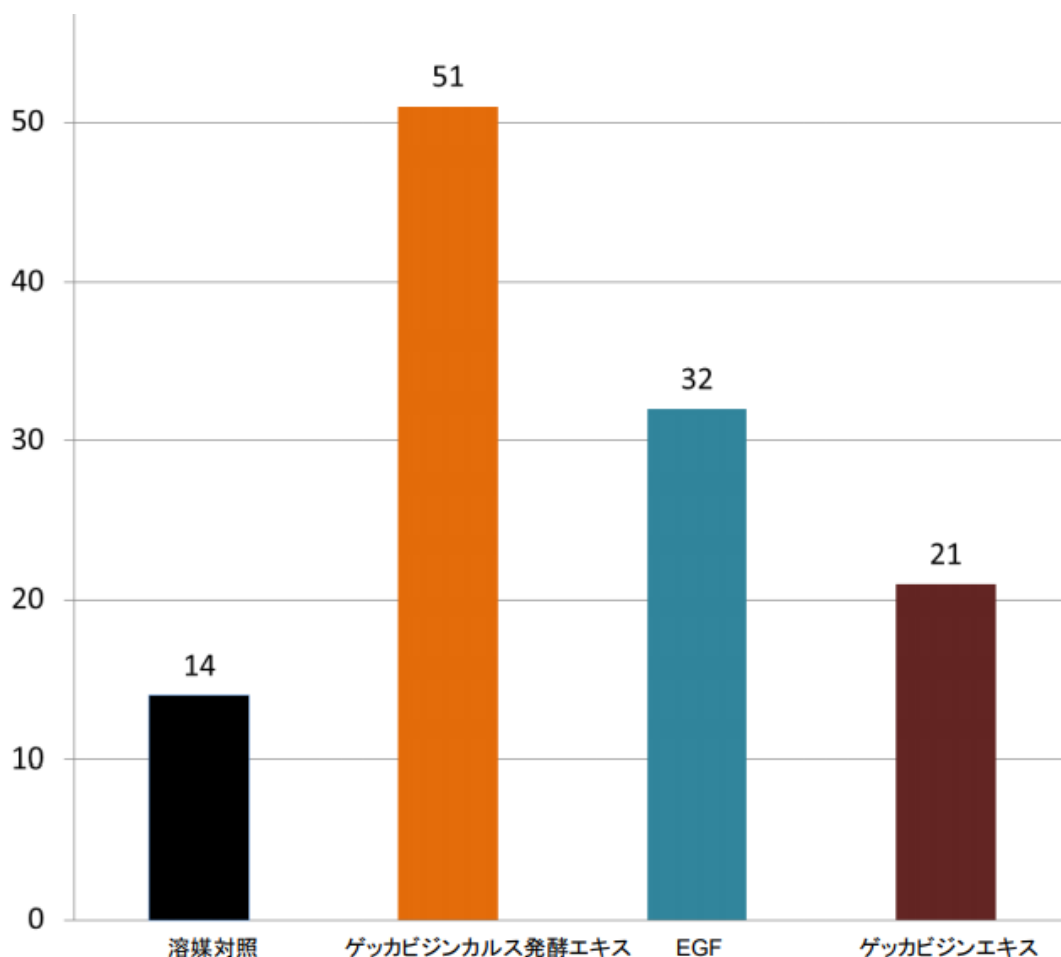


月下美人カルス発酵液は、ヒト乳腺細胞に対してホルモン作用を増加させました。ホルモンとしての働きが期待されます。

# 月下美人カルス発酵液

## ヒト皮膚幹細胞に対する働き — 皮膚幹細胞増殖作用 —

ヒト皮膚基底層幹細胞 細胞数 (× 1000 cells)



月下美人カルス発酵液は、はヒト皮膚幹細胞を増殖させました。皮膚の修復作用が期待されます。